

立野ダム試験湛水にあわせた

「立野ダム周辺かわまちづくり協議会」の取り組みについて

「立野ダム周辺かわまちづくり協議会」は、立野ダム周辺の白川流域や立野峡谷の安全性、親水性、周遊性を向上させ、かわを活かした魅力あるまちづくり計画を検討するために、令和5年2月に南阿蘇村が設立しました。河川管理者である国土交通省立野ダム工事事務所協力のもと、これまでに協議会を2回、検討部会を5回開催してきました。

このたび、令和6年1月15日（月）からの立野ダム試験湛水実施にあわせて、協議会の構成員により以下の取り組みを行います。

その他にも取り組みを計画しております。その他取り組みについては詳細が固まり次第お知らせいたします。

記

① 立野ダム右岸特設広場の解放

・試験湛水に合わせて、立野ダム右岸特設広場を一般の方に解放いたします。

期間：1/28(日)、2/3(土)、2/4(日) 9:00～16:30

場所：下記のマップよりご確認ください。



② ビューポイントマップの公開

・試験湛水の状況を見ることができるポイントを記したビューポイントマップを公開

いたします。ビューポイントは、下記のウェブサイトにて掲載しております。
【ビューポイントマップ掲載ウェブサイト】

- ・南阿蘇村ホームページ : <https://www.vill.minamiaso.lg.jp/default.html>
- ・立野ダム工事事務所ホームページ : <https://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/>
- ・南阿蘇総合情報サイト みなみあそ info : <https://minamiaso.info>

ビューポイントマップ



③ 各ビューポイントでの案内看板の設置

・各ビューポイントに試験湛水の説明、サーチャージ水位時のイメージ写真等を掲載した案内看板を設置いたします。

案内看板 (一例)

立野ダム 試験湛水 Viewpoints 新阿蘇大橋展望所 ヨ・ミュール

Q しげんたんすい 試験湛水とは？

A 立野ダムは、洪水時のみに水を貯める「流水型ダム」です。平常時は水を貯めず、通常の川と同じ状態にします。
現在、ダムはほぼ完成しており、天端に架かる橋の鋼装工事などの一部工事を残すのみとなっています。
試験湛水では、サーチャージ水位（最高水位）まで実際に水を貯め、ダム本体や、貯水池周辺地山の安全性を確認します。

試験湛水の期間
2024年1月15日より開始し、2月上旬にサーチャージ水位に達する予定です。
満水になると、非常用洪水吐より越水します。

試験湛水の流れ

- 3カ所の洪水吐を閉塞します。水位低下放流ゲートなる放流するので、下流の水がなくなることはありません。
- 水位も上昇させ続け、サーチャージ水位(EL.276.0m)に到達させます。
- 洪水吐を閉塞し、水位を上昇させる。
- 水位低下放流ゲートから放流

試験湛水中は、全3カ所の洪水吐を塞いでいます。

試験湛水ビューポイントMAP

※立野ダム右岸特設広場の一般開放は変更になることもあります。その際はホームページ等でお知らせいたします。

立野ダム 試験湛水ビューポイントMAP

普段の様子

最高水位に達したときのイメージ

④ 立野ダム 試験湛水特別見学ツアーの開催

・2/3(土)、2/4(日)に試験湛水に合わせて「立野ダム 試験湛水特別見学ツアー」と題して、立野ダムインフラツアーを実施いたします。詳細な内容については、下記ウェブサイトの南阿蘇総合情報サイト みなみあそ info (<https://minamiaso.info>) にて掲載しております。

(問い合わせ先)

【かわまちづくり協議会について】

- ・南阿蘇村役場 政策企画課 古澤 祐一 (TEL : 0967-67-2230)

【取り組み①、②、③について】

- ・立野ダム工事事務所 建設監督官 弓削 琢郎 (TEL : 096-385-0707 内線 402)
- ・南阿蘇村役場 建設課 渡邊 修一郎 (TEL : 0967-67-3178)

【取り組み④について】

- ・一般社団法人 みなみあそ観光局 小笹 和幸 (TEL : 0967-67-2222)